

「よこすかPinCap」

すべての子どもが笑顔で暮らせる横須賀を目指して

よこすかPinCap実行委員会 2025年度事業報告



いじめSTOP!!

ピンクシャツデー運動

よこすかPinCap実行委員会

特定非営利活動法人

YMCAコミュニティサポート × 横須賀市

よこすかPinCap実行委員会が始動!!

市民にいじめや人権について考える機運の醸成につなげ、差別や偏見のない横須賀のまちを築いていくことを目指し、特定非営利活動法人YMCAコミュニティサポートと横須賀市は令和6年5月に市民協働モデル事業の協定を締結しました。

なんでPinCapなの??

エンパワメントかながわのCAP講座（Child Assault Prevention＝子どもへの暴力防止）を通じて市内の小学生や子どもと関わる大人等へと理解を促進していきます。

ピンクシャツデー運動は、ピンクシャツの着用でなくてもピンク色の小物（帽子＝Capなど）を身に着けることもいじめSTOPの意思表示となります。

よこすかPinCap実行委員会では、いじめ防止の理解促進となる講座の開催やピンク色の小物を着用するなどしながらピンクシャツデー運動を行っています。

どんなことを行うの??

学校教育の中で
いじめ防止授業を提供

- ・エンパワメントかながわCAP子どもワークショップ
- ・劇団プレイバックーズ演劇によるいじめ防止授業

子どもと関わる
大人への理解促進

- ・エンパワメントかながわCAP大人講座
- ・劇団プレイバックーズ大人の 인권ワークショップ

ピンクシャツデー
を盛り上げる

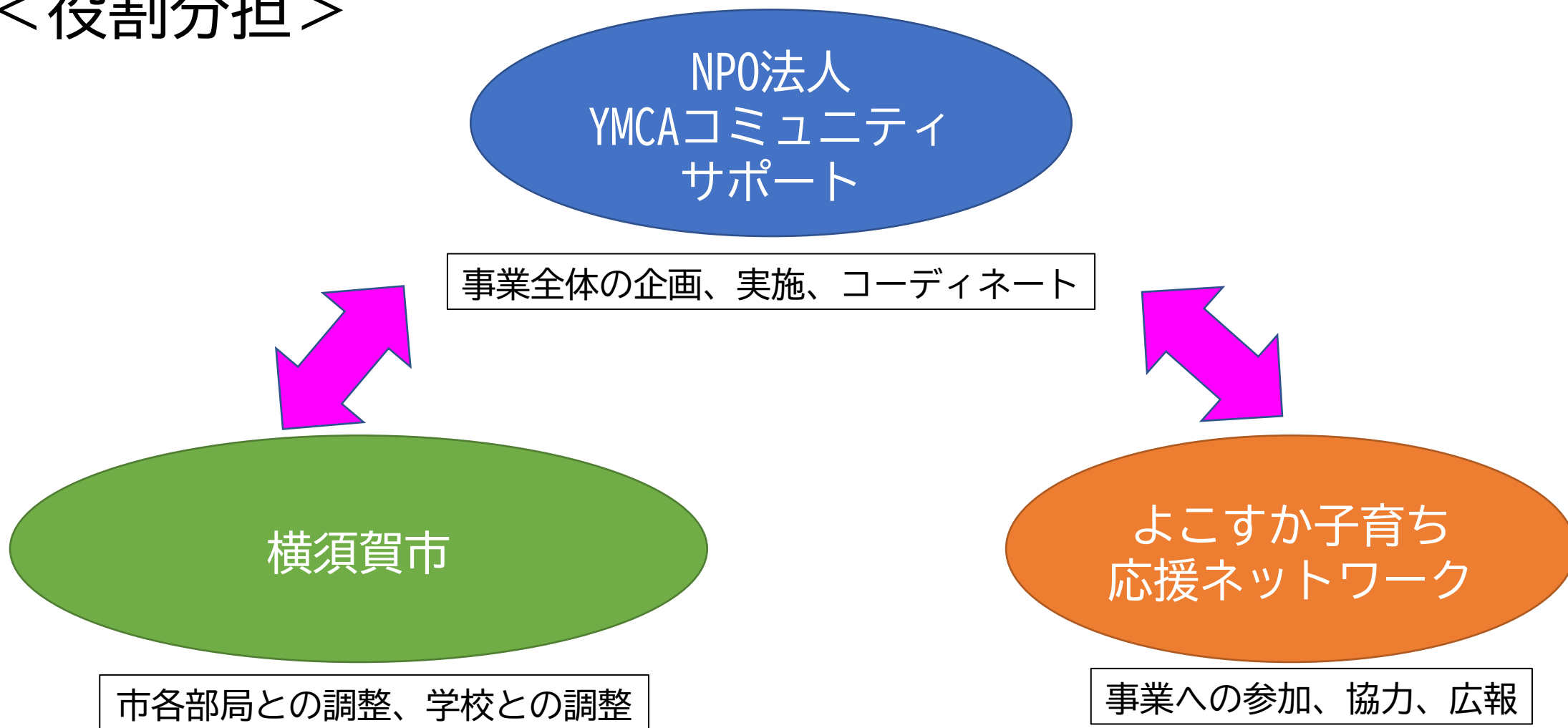
- ・イベントの開催支援
- ・発信力の強化
- ⇒ イベントを更に発展

活動の拡大
意識の普及

- ・子育て応援ネットワークとの連携
- ・HPやSNS、広報誌等を活用した広報活動
- ・多彩なグッズによる活動展開
- ・活動展示の実施

啓発活動の充実

<役割分担>



※よこすか子育て応援ネットワークとは…
横須賀市内で活動している子育て支援団体のネットワーク。
単独の団体だけでは開催が難しい学習会やイベントを、手をつなぐことで開催し、それぞれの活動の活性化やスタッフの支援スキルの向上につなげています。また、支援団体同士が顔の見える関係を作ることによって、子育て支援の質の向上を目指しています。

1. ピンクシャツデー運動の啓発

2. いじめ防止のための理解促進

1. ピンクシャツデー運動の啓発

1-① 偶数月の取組み

- ・ 市民活動サポートセンターでのポスター等の掲示、SNSでの発信



1. ピンクシャツデー運動の啓発

1-② 取り組みの紹介

- ・市民活動サポートセンター 活動紹介コーナーにて展示



1. ピンクシャツデー運動の啓発

1-③ 2月のピンクシャツデーイベントの発展

いっしょに考えよう・・・

Q1. について
人はみんな、生まれながらに「基本的人権」をもっています。
「人としての尊厳や価値が守られ、幸せに生きるために必要な権利」をすべての人が持っています。「人権」はすべての人にとって守られなければならない大切なものです。

Q2. について
困ったことがあったら、だれに相談してもいいです。
一人で抱えずに、話しやすい人に相談しましょう。

Q3. について
いやなことがあったら、いやといってもいい、逃げてもいい、誰かに相談してもいいんです。自分を守ることを第一に考えてください。

Q4. について
暴力にはいろいろな形があります。からだはもちろん、こころが傷つくことも暴力です。

よこすか子育て応援ネットワークとは
横須賀市内で活動している子育て支援団体が集まってネットワークを作っています。一時保育や障がい児支援、不登校支援、子ども食堂、地域の居場所など、様々な活動があります。

アンケートにご協力ください ⇒

制作・著作：よこすか子育て応援ネットワーク

いじめSTOP!!

**ピンクシャツデーイベント
スタンプラリー**

ピンクシャツデー運動とは・・・
ピンク色のシャツを着たり、
ピンク色のものを身につけることで
「いじめ反対」の意思表示をする
ポジティブキャンペーンです。

濃いピンク、薄いピンクの、ワイシャツや
Tシャツ…。衣類でなくてもピンクの小物
を身につけるだけでもいじめ反対の気持ち
を表すことになります。
横須賀市では、偶数月の最終水曜日に
キャンペーンを展開しています。

主催：横須賀市
共催：よこすか子育て応援ネットワーク
協力：コースカベイサイドストアーズ、横須賀市内郵便局
ともしびショップマリン
NPO法人神奈川子ども未来ファンド、三浦市

**Q 1. 自分の権利と友達の権利と
どちらが大切？**

①自分の権利が大切
②友達の権利が大切
③どちらも大切

缶バッジコーナー

**Q 2. 困ったことがあったら、
誰に相談したらいい？**

①親
②先生
③近所の人
④友達

郵便局コーナー

**Q 3. いやなこと、こわいことが
あったらどうする？**

①「イヤ」という
②逃げる
③誰かに話す

絵本コーナー

Q 4. 次のうち「暴力」はどれ？

①無視をする
②たたいたり、けったりする
③心が傷つくことを言う
④勝手にからだをさわる

塗り絵コーナー

1. ピンクシャツデー運動の啓発

1-③ 2月のピンクシャツデーイベントの発展



1. ピンクシャツデー運動の啓発

1-③ 2月のピンクシャツデーイベントの発展



1. ピンクシャツデー運動の啓発

1-③ 2月のピンクシャツデーイベントの発展

<イベント参加者アンケートに寄せられたご意見>

- ・市役所などでピンクのTシャツをたくさん販売しているので、ピンクのシャツを着なくてはいけない日なのだと思います。子どもの権利などを考える日なのだと知り、良いイベントなのだと思います。
- ・取り組みが広まるにつれて、ピンクシャツを着ない人に対するいじめにつながらないか心配。特定の色に限らず、すべての人を尊重できる社会になるといい。
- ・「いじめ」という代名詞を使うのをやめたらいいと思う。「いじめ反対」とか「いじめストップ」というのは、うわべだけのスローガンのように思う。
- ・今回のスタンプラリーのクイズのような内容を、子どもだけでなく大人にも伝える。特に先生とか身近な大人が知ってくれたら。誰に相談してもいい、一人で抱えなくていいと言われて、そういうことをもっと早く知りたかった。
- ・今回のような大切なことを子どものうちから伝えていくといいと思う。
- ・自分は国籍は外国だけど、小さいころから日本で育ち、心は日本人なのに、選挙権もなく、差別されている気がする。子ども達にいくら差別やいじめは良くないと言ったところで、身近な大人がやっていたら子どもはまねしてしまう。差別を完全になくすのは永遠の課題だと思う。どうか、活動を頑張ってほしいです。

2. いじめ防止のための理解の促進

2-① エンパワメントかながわのCAP大人講座の開催 (栗田小学校 教職員対象)



2. いじめ防止のための理解の促進

2-② エンパワメントかながわのCAPこどもワークショップの開催 (栗田小学校 4年生2クラス、5年生2クラス対象)



2. いじめ防止のための理解の促進

2-③ 劇団プレイバックーズ 人権ワークショップの開催



2. いじめ防止のための理解の促進

2-③ 劇団プレイバックーズ 人権ワークショップの開催

インタビューによって体験者の気持ちやストーリーを引き出す技量、それを即興で演じることのみごとさ、どれも職人技だと思いました。

小さな(小学生)のうちに、少しでも考えさせようとする取り組みにととても共感した。

感情を視覚で見るとというのが、とても新鮮でした。子どもたちには、とても分かりやすいのではないのでしょうか。

1人1人に考えや繊細な「気持ち」があることを、目の当たりにした気がします。

少しでも多くの小学生に いじめ防止授業を受けてもらえたらと思う。

ご清聴ありがとうございました